

令和6年度全国学力・学習状況調査結果の概要

富谷市教育委員会

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するため、令和6年4月18日（木）に実施した全国学力・学習状況調査の富谷市立学校の結果の概要をまとめました。（児童生徒質問紙調査は、4月10日から4月23日の間にオンラインで実施されました。）

富谷市では、この結果をもとに、教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら、教育施策の改善などに役立てていきます。

1 調査対象（全小中学校を対象とした悉皆調査）

- （1）小学校調査 小学校第6学年 8校 554名
- （2）中学校調査 中学校第3学年 5校 646名

2 調査事項

- （1）教科に関する調査（小学校調査は、国語・算数、中学校調査は、国語・数学）
- （2）児童生徒質問紙調査（オンライン調査）

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

3 調査結果の概要

- （1）教科に関する調査

富谷市の小学校の平均正答率は、国語で全国平均を3ポイントほど上回りましたが、算数は全国平均を0.4ポイント下回りました。富谷市の中学校の平均正答率は、国語は全国平均を0.9ポイント上回り、数学では3.5ポイント上回りました。

また、学習指導要領の内容・領域や観点別・問題形式については、大まかにみると富谷市の小・中学校とも、全国平均の正答率と同じ傾向が見られます。富谷市の小学校の国語では、問題形式の「選択式」、「短答式」で正答率が高い傾向が見られました。小学校の算数では、学習指導要領の「D変化と関係」で正答率が低い傾向が見られました。富谷市の中学校の国語では、学習指導要領の内容の「思考力、判断力、表現力等」で正答率が高い傾向が見られました。中学校の数学では、学習指導要領の領域の「B図形」「C関数」「Dデータの活用」、評価の観点の「知識・技能」、問題形式の「選択式」「短答式」で正答率が高い傾向が見られました。

各教科における正答数分布をみると、小・中学校とも全国平均・宮城県平均とほぼ同様な分布となっていますが、富谷市の小学校算数は全国・県よりも正答数が少ない児童が若干多くなっています。富谷市の中学校国語と数学では、全国・県のピーク付近で突出しています。

問題別の正答率では、富谷市の小学校国語では、問題番号「2三」「3一」「3二（1）」の正答率が全国平均を5%以上上回りましたが、「2二」の正答率は全国平均を5%下回りました。小学校算数では、問題番号「4（3）」「4（4）」の正答率が全国平均を5%以上下回りました。中学校国語では、問題番号「2三」が全国平均を5.3%上回りました。中学校数学では、問題番号「3」「7（1）」「8（3）」「9（1）」「9（2）」の正答率が全国平均を5%以上上回りました。

(2) 児童生徒質問紙調査

富谷市の小学校では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合で判断すると、放課後や週末の行動を問う 26 番の項目を除く全 72 項目中、回答率が 90 % 以上で全国平均も上回った質問が 6 項目あり、回答率 50 % 以上で全国平均を 5 % 上回った質問も 2 項目ありました。特に、ICT 関係、学び合い等の項目が高くなりました。

一方、富谷市の小学校で、全国平均を 5 % 以上下回ったのは以下の 8 項目でした。(括弧) は質問番号を示しています。

- ①「英語の勉強は好きですか」(61)で全国比－13.2
- ②「算数の勉強は好きですか」(50)で全国比－8.7
- ③「算数の授業の内容はよくわかりますか」(52)で全国比－8.5
- ④「学校に行くのは楽しいですか」の項目(16)で全国比－6.6
- ⑤「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」(7)で全国比－6.2
- ⑥「国語の勉強は好きですか」(42)で全国比－5.9
- ⑦「英語の勉強は大切だと思いますか」(62)で全国比－5.8
- ⑧「英語の授業の内容はよく分かりますか」(63)で全国比－5.5

英語の勉強について、富谷市で「好き」と回答した児童は 56.1 % いましたが、全国では 69.3 % が「好き」と回答しており、外国語活動や外国語の日々の指導において、より一層の工夫・改善を図り、英語を好きになる指導が期待されます。算数、国語についても同じ事が言えると思います。また、理科も「理科の勉強は好きですか」(58)が全国比－4.3 と決して高くはない状況です。

中学校では、放課後や週末の行動を問う 26 番の質問を除く全項目 74 のうち、回答率が 90 % 以上で全国平均も上回った質問が 10 項目ありました。また、回答率 50 % を超え全国平均を 5 % 上回った質問が 6 項目ありました。小学校でも高かった「ICT 関係の活用」「学び合い」等の他に、「基本的な生活習慣」の目の回答が良好でした。全国を 5 % 以上下回ったのは、以下 4 項目でした。(括弧) は質問番号を示しています。

- ①「前学年までに受けた授業で、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか」(63)で全国比－12.5
- ②「前学年までに受けた授業で、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか」(64)で全国比－6.7
- ③「前学年までに受けた授業で、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか」(61)で全国比－5.1
- ④「算数(数学)の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」(56)で、全国比－5.0

小学校で最も低かった「英語の勉強は好きですか」は中学校の質問項目にはなかったのですが、上記、全国を 5 % 以上下回った項目に、英語関係が 3 項目含まれており、「即興の伝え合い活動」「スピーチやプレゼンテーションなどの発表活動」「英語を聞いて全体の概要や要点をとらえる活動」など、学習活動のより一層の工夫・改善が期待されます。

4 今後の対応

今回の調査結果及び分析結果を本市の教育施策の検証・改善に生かし、子どもたちが学習に意欲を持って取り組めるよう学校、家庭、地域及び市教育委員会が連携して、教育活動の充実や生活・学習状況の改善に取り組みます。なお、今後、各学校においても、課題改善に向けた指導の方向性や対策を明らかにするとともに、保護者にも説明し、協力をお願いすることとしております。

小 学 校 国 語 問 題 解 説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2ー (1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものと して、適切なものを選択する	83.4	0.9
正答例	4 集めた情報の共通点を考えた。		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2ー (2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものととして、適切なものを選択する	89.5	0.9
正答例	2 中央の言葉と関係する言葉を線でつないでいる。		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2三 イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す（なげる）	82.1	6.1
正答例	投（げる）		

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

正答率が40%を下回った問題は富谷市も全国もありませんでした。

小 学 校 算 数 問 題 解 説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 (1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	88.6	0.5
正答例	4 (図は省略)		

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3 (3)	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	34.1	11.0
正答例	$22 \times 22 \times 22$		

球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題です。球の形をしたボールがぴったり入る立方体の形をした箱の一辺の長さが、ボ

ールの直径の長さと同しくなることを捉えることが必要です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「球の直径 2.2 や半径 1.1 や直径の 2 倍 4.4 に関係した式、円周率を用いた式」以外の解答で 28.9% でした。次に多かったのは「円周率 3.14 を用いた式を解答しているもの」で 13.9% でした。

無解答率も 11.0% と高めでした。(全国の無解答率は 9.8%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
4 (3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	25.5	1.3
正答例	【番号】1 【わけ】(例) かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900+300=1200$ で 1200m です。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200m で同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いです。道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです		

道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題です。道のりが等しい場合には、時間が短いほど速さが速いということに気付くことができるようにすることが大切です。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「かなたさんの方が速いと判断できており、かなたさんとほのかさんが歩いた道のりが等しいことも記述できているが、かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間よりも短いことは記述できていない」解答で 35.4% でした。次に多かったのは「かなたさんの家から学校までの道が曲がっていることや、ほのかさんの家から学校までの道がまっすぐであることを記述しているが、かなたさんの方が速いと判断できていない」解答で 7.2% でした。

中学校国語問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が 80% を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
3-1	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する	84.8	0.6
正答例	3 物語の読み手に、紙の辞書を久しぶりに使って気付いたよさがより明確に伝わるようにするため。		

【正答率が低かった問題】 正答率が 40% を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
2-1	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する	37.6	0.5
正答例	1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられる 2 つとも選んでいる。		

目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題です。葉の形を表す言葉を二次元的（平面的）な形容と三次元的な（厚み方向の）形容のグループに分け、それぞれの特徴を示した内容を要約することを求めています。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「1 と解答し、2 と解答していないもの」で 27.6% でした。「図 さまざまな形の葉」が、読み手が実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように、補助する役割をもつことは捉えることができますが、第二段落で列挙されている「さまざまな形容」と実際の葉の形とを結び付けられるようにする役割をもつことを捉えることができていないものと考えられます。次に多かったのが、「2 と解答し、1 と解答していないもの」で 24.3% でした。「図 さまざまな形の葉」が、読み手が、実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けられるよう

にする役割をもつことは捉えることができていますが、実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割をもつことを捉えることができていないものと考えられます。

中学校数学 問題解説

※調査問題については、国立教育政策研究所のHP参照。

【正答率が高かった問題】 正答率が80%を超えて、かつ全国平均を上回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
6 (1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	92.6	2.3
正答例	-2		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
7 (1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める	82.0	4.8
正答例	1.9		

問題	問題の概要	正答率	無解答率
8 (1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	87.9	0.8
正答例			

問題	問題の概要	正答率	無解答率
8 (3)	結衣さんがかけたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く	82.0	3.4
正答例			

【正答率が低かった問題】 正答率が40%を下回った問題

問題	問題の概要	正答率	無解答率
6 (2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかけた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	35.6	20.4
正答例	説明(例) $2(a+b+c)$ $a+b+c$ は○に入れた整数の和だから、 $2(a+b+c)$ は○に入れた整数の和の2倍である。したがって、□に入る整数の和は、○に入れた整数の和の2倍である。		

目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる問題です。図1について、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍であることを説明するためには、根拠として、計算した式 $2a+2b+2c$ を $2(a+b+c)$ と変形し、 $a+b+c$ は○に入れた整数の和であることを記述する必要がある、その上で、成り立つ事柄として、 $2(a+b+c)$ は○に入れた整数の和の2倍であることを記述する必要があります。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「 $2a+2b+2c$ と計算しているが、根拠とそれによって成り立つ事柄を記述していない」解答で9.1%でした。次に多かったのは、「□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍であることを説明するために、計算した式 $2a+2b+2c$ から、根拠として、『 $2a+2b+2c$ が $a+b+c$ の2倍である』ことを記述していないが、『 $a+b+c$ は○に入れた整数の和である』ことや『 $2a+2b+2c$ は○に入れた整数の和の2倍である』ことを記述している」解答で7.4%

でした。

記述式のため、無回答率は20.4%と高くなりました。(全国の無解答率は23.5%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	29.7	23.1
正答例	説明(例) 速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、箱ひげ図の箱の位置が右側にずれていつている。		

複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる問題です。「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」ことが主張できる根拠として、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、箱ひげ図の箱の位置が右側にずれていつていることを記述する必要があります。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、箱ひげ図や四分位数等に関わる記述がない解答で13.5%でした。次に多かったのは、「箱ひげ図の読み取りを誤った」解答で9.5%でした。

記述式のため、無回答率は23.1%と高くなりました。(全国の無解答率は29.4%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $AQ=PB$ であることを、三角形の合同を基にして証明する	31.0	27.6
正答例	説明(例) 正三角形の辺はすべて等しいから、 $AC=PC$ ……① $CQ=CB$ ……② 正三角形の1つの内角は 60° より、 $\angle ACQ=60^\circ+\angle PCQ$ $\angle PCB=60^\circ+\angle PCQ$ よって、 $\angle ACQ=\angle PCB$ ……③ ①、②、③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle QAC \equiv \triangle BPC$		

筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題です。二つの正三角形によってできる図形の性質を考察する場面を取り上げて、図1や図2を観察した上で、二つの線分の長さが等しいことを三角形の合同を基に証明することで明らかにします。

誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「線分の長さや角度の大きさが等しいこと」等の記述がない解答で15.6%でした。次に多かったのは、「線分の長さが等しいこと」のみ記述した解答で12.2%でした。

記述式のため、無回答率は27.6%と高くなりました。(全国の無解答率は33.6%)

問題	問題の概要	正答率	無解答率
9(2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ	33.9	2.0
正答例	① ウ ② ウ		

事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことができるかどうかをみる問題です。図3のように点を動かしたとき、いろいろな角の大きさを観察した上で、ある二つの角に着目し、その和について成り立つことを見いだします。

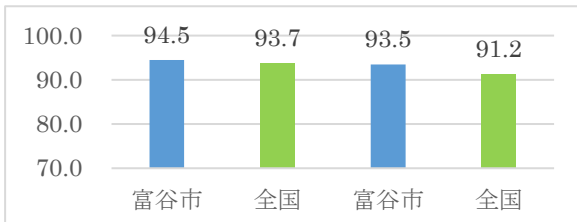
誤答のうち、富谷市で最も多かったのは、「① イ ② ア」とした解答で9.3%でした。点Cが点Aと中点Mの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は 60° より小さくなると捉えたと考えられます。次に多かったのは、「① イ ② ウ」とした解答で8.4%でした。点Cが中点Mと点Bの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和は 60° になると捉えることはできましたが、点Cが点Aと中点Mの間にあるとき、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の和が 60° になると捉えることができなかったと考えられます。

質問紙調査の結果と分析

生活習慣

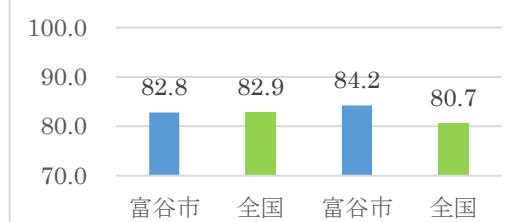
Q 1 朝食を毎日食べていますか

小学校 中学校



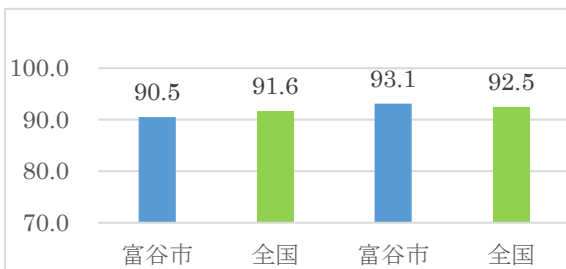
Q 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

小学校 中学校



Q 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

小学校 中学校



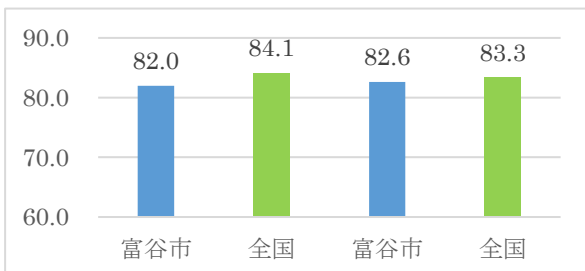
小学校は起床時刻が全国を下回っていますが、中学校は三項目とも全国を上回っています。

今後も、学級活動や学校だよりで話題にするなど、規則正しい生活習慣を身に付け、健康に留意して生活できるよう、学校や家庭で子どもと一緒に話し合う機会をつくるのが大切です。

自己有用感

Q 9 自分にはよいところがあると思いますか

小学校 中学校

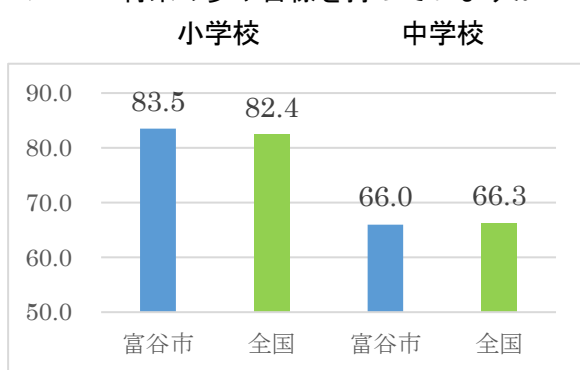


「自分にはよいところがあると思いますか」という項目においては、小学校・中学校とも全国を下回りました。

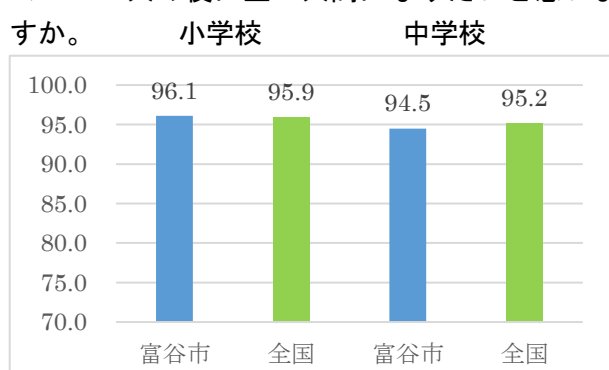
授業や学校行事、日常の当番活動や係活動などにおいて、よいところを認め具体的に伝えること、そして、互いのよさを認め合える集団づくりを行っていくのが大切です。

将来の夢や目標について

Q 1 1 将来の夢や目標を持っていますか



Q 1 5 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

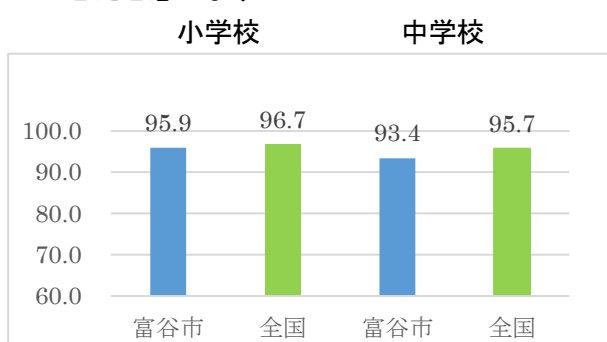


「将来の夢や目標を持っている」割合は、小学校で全国をやや上回っていますが、中学校は全国並みです。富谷市・全国とも中学校が小学校を下回っています。「人の役に立つ人間になりたいと思っている」割合は、富谷市・全国の小・中学校とも94%以上で高くなっています。小学校は全国並みとなっていますが、中学校は全国をやや下回っています。

将来の夢や目標を持つためには、自己をしっかりと見つめさせ、夢や希望について考える場と時間を十分に与えるだけでなく、さらにそれについて教師と一緒に語り合える場を設定することも大切です。また、人の役に立つ人間を目指すためには、子どもたち一人ひとりに積極的に役割を与えるなど、自信を持ち、自分の価値に気づかせ、自己有用感を高める指導も必要です。

いじめについて

Q 1 3 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思います



「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた割合は、富谷市の小学校では全国をやや下回っていますが、それでも94%と高い値です。中学校は全国を下回りました。

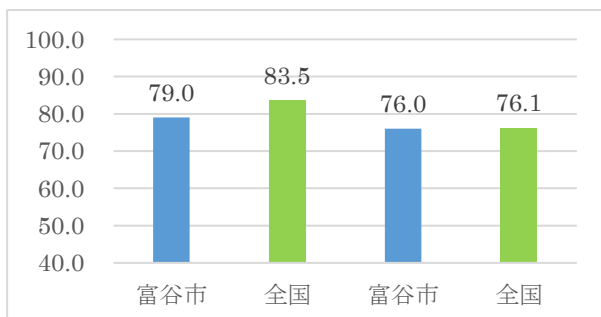
いじめの問題については、「あなたならどうするか」と自分のこととして考えさせ、話し合わせることを通して、「いじめられる側にも問題がある」という考えは誤りであることに気づかせる必要があります。

地域・社会に対する興味・関心

Q 2 5 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

小学校

中学校



「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答えた割合は、小学校は全国を下回りましたが、中学校は全国並みでした。

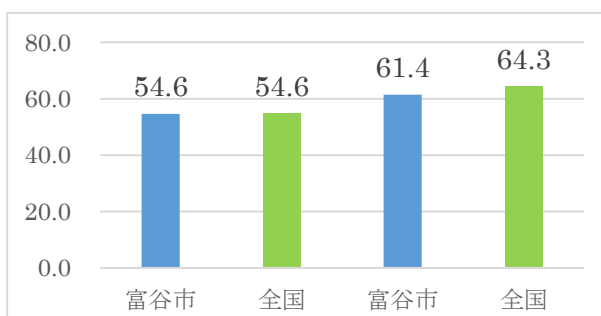
新型コロナウイルスの影響で中止や縮小されていたものが復活してきていることから、朝の会や帰りの会で地域や社会のことを話題にすることや、ボランティアなどへの参加の働きかけを行うことで効果を上げることが期待されます。

家庭学習

Q 2 1 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか＜1時間以上と回答した割合＞

小学校

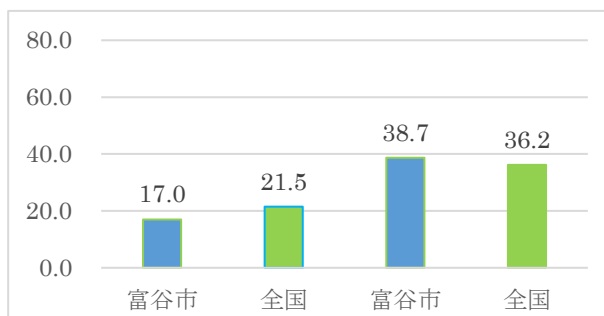
中学校



Q 2 2 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか＜2時間以上と回答した割合＞

小学校

中学校



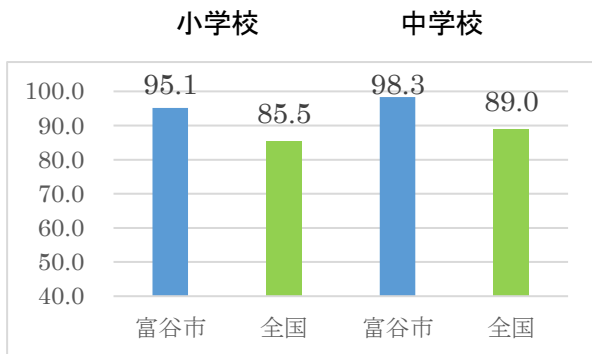
平日に1時間以上勉強するのは小学校で全国並み、中学校は全国を下回りました。学校が休みの日に2時間以上勉強するのは、小・中学校とも平日よりもかなり少なくなりました。小学校で全国を下回りましたが、中学校は全国を上回っています。

家庭学習では、計画を立てて学習する具体例を示し参考にさせたり、計画的な学習の効果を教えたりするなど、継続的な指導が大切です。

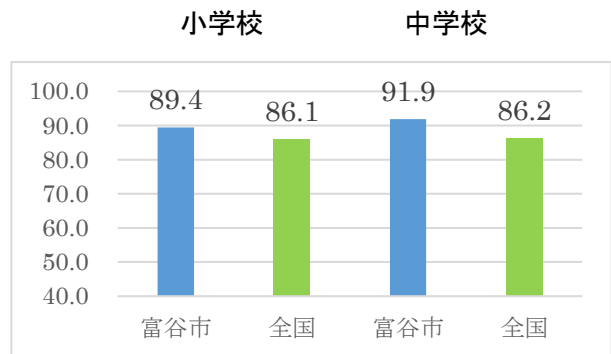
ICTの活用について

Q27 授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか

<週1回以上と回答した割合>



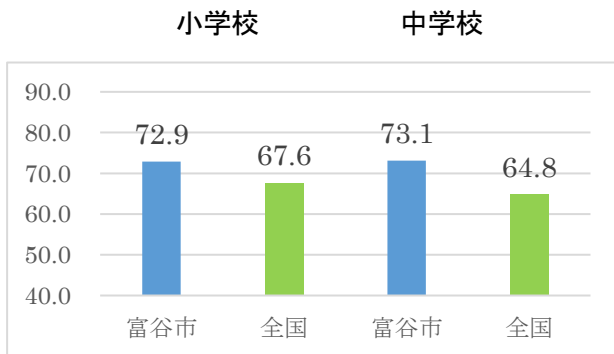
Q28-6 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することは、友達と考えを共有したり、比べたりしやすくなると思いますか



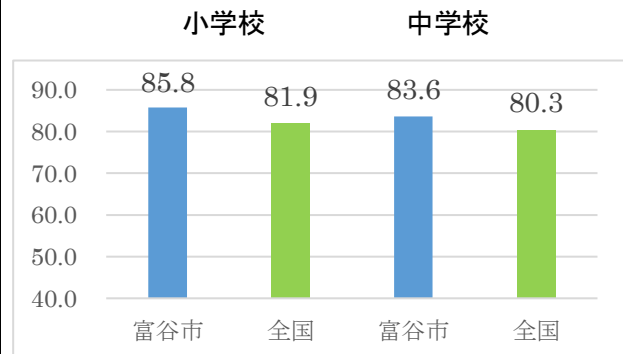
「授業でのICT機器の活用」は、小・中学校とも全国を大きく上回っています。タブレット端末の配布等のハード面の整備とともに、市内各小・中学校の先生方の授業中の活用の成果が表れていると思います。また、「勉強の役に立つ有用性」については、富谷市も全国も十分に認識されていると思います。

学び合い・主体的な学び

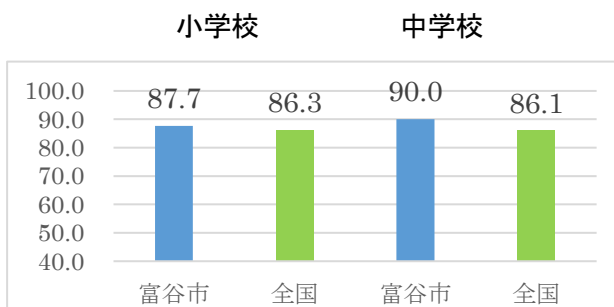
Q29 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



Q30 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



Q33 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

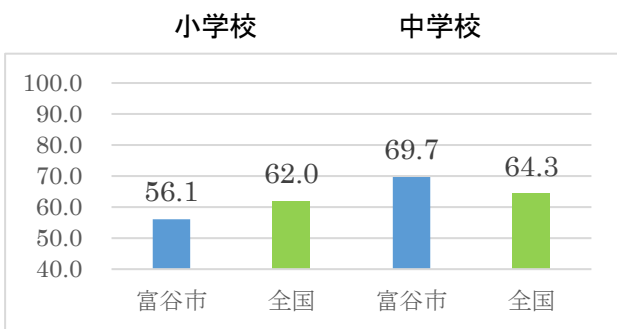


学び合い、主体的な学びに関する項目で、「資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表する」「自分で考え、自分から取り組んでいる」「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている割合は、小・中学校とも全国を上回っています。

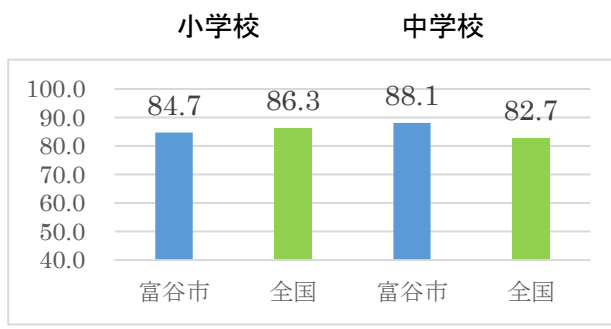
今後も、授業のねらいに応じて、学び合い活動を充実させ、主体的な学びが図れるように指導していくことが望まれます。

国語の授業について

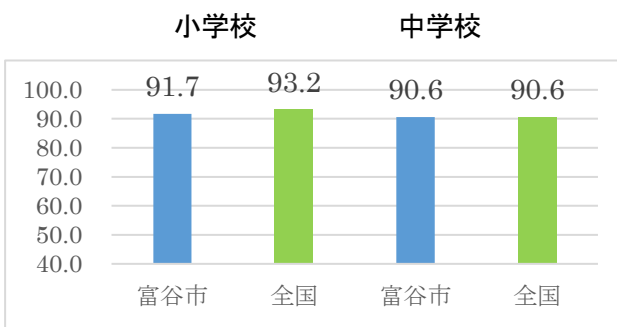
Q 4 2 国語の勉強は好きですか



Q 4 4 国語の授業の内容はよく分かりますか



Q 4 5 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

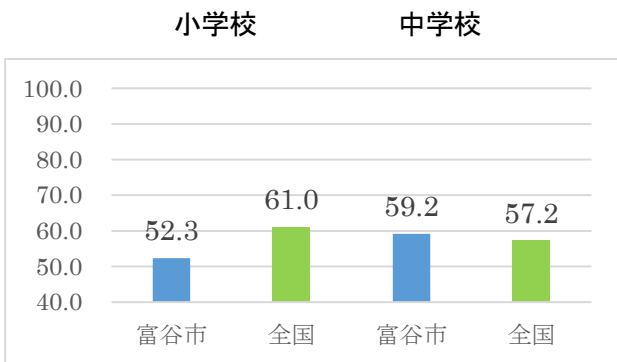


「国語の勉強が好きか」と「国語の授業が分かるか」については、小学校は全国を下回り、中学校は全国を上回りました。「国語で学習したことは将来役に立つ」については、9割以上の児童生徒が「役に立つ」と答えましたが、小学校は全国を下回りました。中学校では全国並みとなりました。

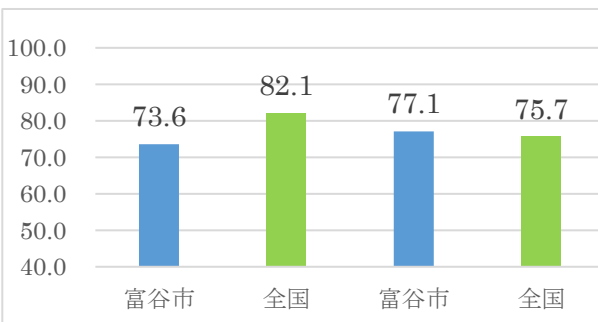
国語の面白さが伝わり、有用性が分かるような指導を心掛け、国語好きの児童生徒が増えることを期待します。

算数・数学の授業について

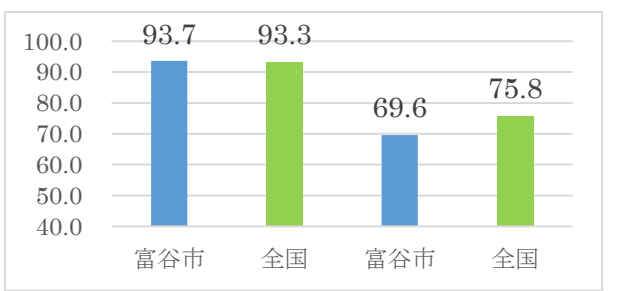
Q 5 0 算数（数学）の勉強は好きですか



Q 5 2 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか



Q 5 3 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



「算数（数学）の勉強が好きか」と「算数（数学）の授業が分かるか」については、小学校は全国を大きく下回り、中学校は全国を上回りました。「将来役に立つか」については、小学校は全国並みでしたが、中学校は大きく下回り、有用性が分かるような指導が必要です。

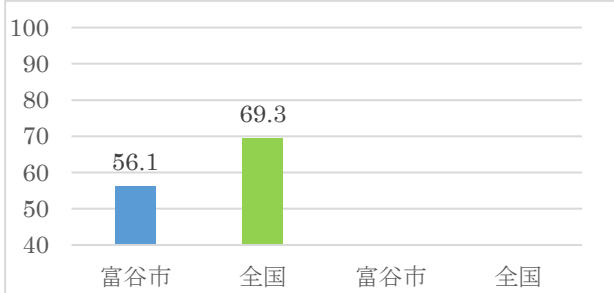
小学校では、「授業が分かる」ことが実感できるように指導の工夫や改善を行い、国語以上に算数・数学への苦手意識を減らすことが重要です。

英語の授業について

Q 6 1 英語の勉強は好きですか

小学校

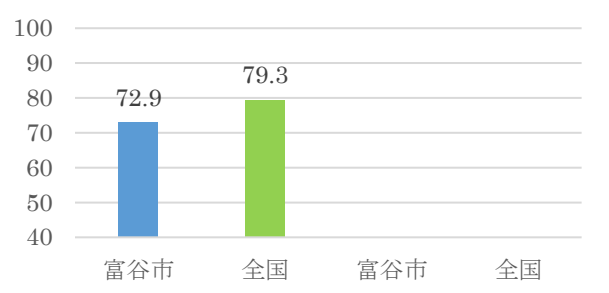
中学校



Q 6 3 英語の授業の内容はよく分かりますか

小学校

中学校



英語については、小学校で「英語の勉強は好きか」「授業の内容が分かるか」「将来役に立つか」等について問われており、中学校では該当する項目はありませんでした。

「英語の勉強が好きか」では、算数同様に数値が大きく下がっており、苦手意識がかなりあるようです。また、「授業の内容が分かるか」についても「将来役に立つか」も全国を下回りました。「英語が好きになる」「英語の授業が分かる」ことが実感できるように指導の工夫や改善を行い、英語への苦手意識を減らすことが重要です。

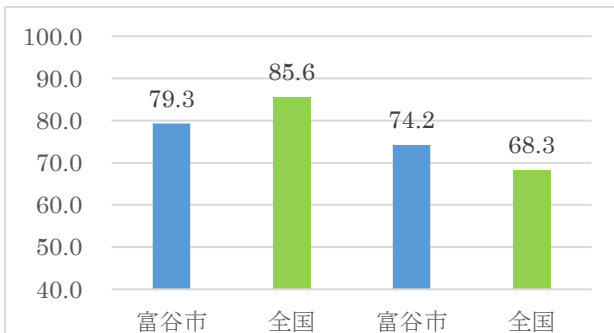
中学校でも、小学校と異なる質問が5項目設定されていましたが、5項目とも全国を下回っており、やはり指導の工夫や改善が求められます。

理科の授業について

Q 5 8 理科の勉強は好きですか

小学校

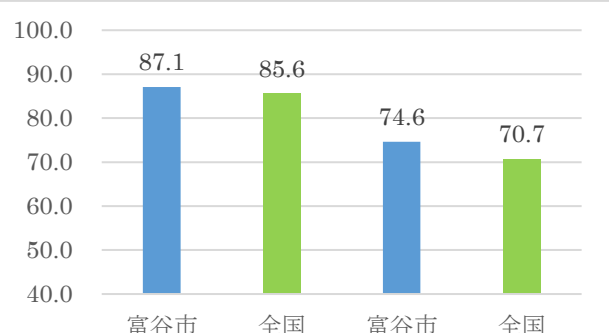
中学校



Q 6 0 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

小学校

中学校



理科については、小・中学校共通で「理科の勉強は好きか」「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てているか」等について問われました。

小学校では「理科の勉強が好きか」で全国を下回りましたが、ほぼ8割の児童が好きと答えており、国語、算数、英語に比べて苦手意識が少ないようです。また、「予想をもとに観察や実験の計画を立てているか」については、全国を上回りました。

中学校では小学校より数値は下がりましたが、「理科の勉強が好きか」、「予想をもとに観察や実験の計画を立てているか」ともに全国を上回りました。